

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	大村晋司	実務経験と その関連資格	柔道整復師免許、柔道整復師専科教員免許、接骨院開業(現在)			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の歴史的背景について学び、さらに業務などの沿革について免許制度や法制度がどのように確立されていったか見識を深める。また、柔道整復師が施術対象とする骨折や脱臼、関節損傷、筋損傷、軟骨損傷、神経損傷について理論的に広く学び、柔道整復業務にどのように役立つか考える。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復師学理論編 改定版6版 柔道整復理論実技編改定2版						
《授業外における学習方法》						
インターネットを使つてのアプローチ(小テストや復習など)						
《履修に当たつての留意点》						
柔道整復総論は専科科目であり 国家試験や柔道整復師業務において重要科目である						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の歴史について理解する		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師術、柔道整復師の沿革1				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の業の成り立ちについて理解を深める		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
	各コマに おける 授業予定	柔道整復師術、柔道整復師の沿革2				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	人体にどのような外力が加わり組織が損傷するのかを理解する		柔道整復師学理 論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用して の復習	
	各コマに おける 授業予定	前回の復習(小テスト)、人体に加わる力、損傷時に加わる力				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	痛みの、評価について学ぶ		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用して の復習	
	各コマに おける 授業予定	痛みの基礎				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	骨折とはなにか、骨折にはどのような分類がなされるのか学ぶ		柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用して の復習	
	各コマに おける 授業予定	前回の復習(小テスト)、骨の概説、骨折の分類(の性状による分類、 損傷の程度による分類)				
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第6回	授業を通じての到達目標	骨折線の入り方、開放性骨折、骨折の部位によりどのような特徴があるのかを学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	骨折の分類(骨折線の方向による分類、折部と創部との交通の有無による分、力の働き方による分類、骨折の部位による分類)		
第7回	授業を通じての到達目標	骨折ではどのような症状がみられるのか、一般的な症状と固有症状について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、骨折の症状		
第8回	授業を通じての到達目標	骨折におこる併発症、続発症、後遺症について時系列でとらえどのようなものがあるか理解する	柔道整復師学理論編改定版6版解剖学オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	骨折の合併症(併発症、続発症)		
第9回	授業を通じての到達目標	骨折におこる併発症、続発症、後遺症について時系列でとらえどのようなものがあるか理解する	柔道整復師学理論編改定版6版オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、骨折の合併症(後遺症)		
第10回	授業を通じての到達目標	小児の骨折は全く大人の骨折とは違った特徴を持つため、どのような特徴を持つか理解する	柔道整復師学理論編改定版6版オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	小児の骨折		
第11回	授業を通じての到達目標	高齢者の骨折についてその特徴を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版解剖学オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、高齢者の骨折、骨折の癒合日数		
第12回	授業を通じての到達目標	骨折はどのように治癒していくのか、その現象を時系列で理解し、組織学的にはどのような変化があるのか学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版解剖学オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	骨折の治癒経過、骨折の予後、骨折の治癒に影響を与える因子		
第13回	授業を通じての到達目標	関節についてその構成組織について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版解剖学オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、関節の構造と機能、関節を構成する組織		
第14回	授業を通じての到達目標	関節損傷とはどのようなものか、そしてどのような組織を損傷するのかを学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版配布資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	関節損傷の概説、関節損傷の分類、損傷される組織、関節構成組織損傷		
第15回	授業を通じての到達目標	靭帯の治癒機序について、その経過や予後について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習インターネットを利用しての復習
	各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、関節損傷の分類と症状(損傷の程度による分、靭帯損傷の治癒機、経過と予後)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	井上晃一	実務経験と その関連資格	接骨院開業経験 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の業務は、接骨院・病院・介護施設・スポーツ現場と多岐にわたります。業務の基礎である「診察・治療・予防」を臨床現場を想定しなから理論的に学び今後の学習にどのように応用活用できるか考える。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復師学理論編 改定版6版 柔道整復理論実技書改定2版						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って本読み・医療用語学習						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復総論は専科科目であり 国家試験や柔道整復師業務において重要科目である						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	患者との接し方や診察の進め方を理解する		柔道整復師学理論編改定版6版	授業範囲本読み予習復習	
	各コマにおける授業予定	診察 A治療時の注意点 B診察の手順の概説 C診察の時期による分類				
第2回	授業を通じての到達目標	治療計画の作成を学び施術録の重要性を理解する		柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
	各コマにおける授業予定	診察 D治療計画の作成 E施術録の扱いと記載				
第3回	授業を通じての到達目標	整復操作の基礎を理論的に理解する		柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
	各コマにおける授業予定	治療法(整復法) A徒手整復時の配慮 B骨折の整復法				
第4回	授業を通じての到達目標	整復操作や処置の基礎を理論的に理解する		柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
	各コマにおける授業予定	治療法(整復法)C脱臼の整復法 D徒手整復の確認と配慮 E軟部組織損傷の初回処置				
第5回	授業を通じての到達目標	固定法の基礎を理論的に理解する		柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
	各コマにおける授業予定	治療法(固定法)A固定施行時の配慮 B固定後の配慮				
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第6回	授業を通じての到達目標	固定法の基礎を理論的に理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	治療法(固定法)B固定後の配慮		
第7回	授業を通じての到達目標	手技の種類や適応を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	治療法(後療)A用量 B患者の準備 C手技療法		
第8回	授業を通じての到達目標	運動の種類、方法を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	治療法(後療)D運動療法		
第9回	授業を通じての到達目標	運動の種類、方法を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	治療法(後療)D運動療法		
第10回	授業を通じての到達目標	患者との接し方を再復習し環境の把握を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	治療法(指導管理)A患者とその環境の把握		
第11回	授業を通じての到達目標	患者環境に応じた管理を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	治療法(指導管理)B患者の環境に対する指導管理 C自己管理に対する指導		
第12回	授業を通じての到達目標	予防の手順理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	外傷予防(第一予防)A運動機能向上と教育活動①②		
第13回	授業を通じての到達目標	予防について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	外傷予防(第一予防)A運動機能向上と教育活動③④		
第14回	授業を通じての到達目標	予防内容を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	外傷予防(第二予防)初期発見・早期知慮 (第三予防)		
第15回	授業を通じての到達目標	再復習をおこない疑問点などを解消する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習
	各コマにおける授業予定	授業総復習		